

とAMD  
社市AMD  
AMD  
AMD

# 「母国の惨状に涙」

## ブラジル緊急支援報告

総社市と国際医療ボランティア組織のAMD A(菅波茂代表)は22日、初めて合同で行ったブラジル洪水被災者に対する緊急支援の活動報告をした。

1月18日から現地で活動したブラジル出身で同市嘱託職員譚俊偉(たん・しゅんわい)さん(37)と、AMD A看護師の石岡未和さん(30)が、被災地の様子をスライドで説明した。

住民からの聞き取りで、生活物資の配給が困難な地域があることが分かり、ブラジル赤十字や日系人協会の協力を

得て、直接提供を実施。

アレルギーを持つ乳幼児向けに、豆乳粉ミルク缶250個を同市の義援金39万円で購入し、直接届けた。

譚さんは「母国の惨状を前に涙があふれた。現地では『総社市』が有名になり、信頼関係を築けた」、石岡さんは今

までと違う任務だったが、行政と一緒に活動しやすかつ

た」と話した。

また、同席した片岡聡一市長は「自治体初の職員派遣だったが、新しい布石になった」と意義を強調。菅波代表も同調し「今後は日本の中学生を現地に派遣してサッカー親善を考えたい」と述べた。

ブラジル洪水による死者数は、1月26日時点で827人となり、同国史上最悪の自然災害となった。

現地の様子を報告する譚さん(総社市役所)

